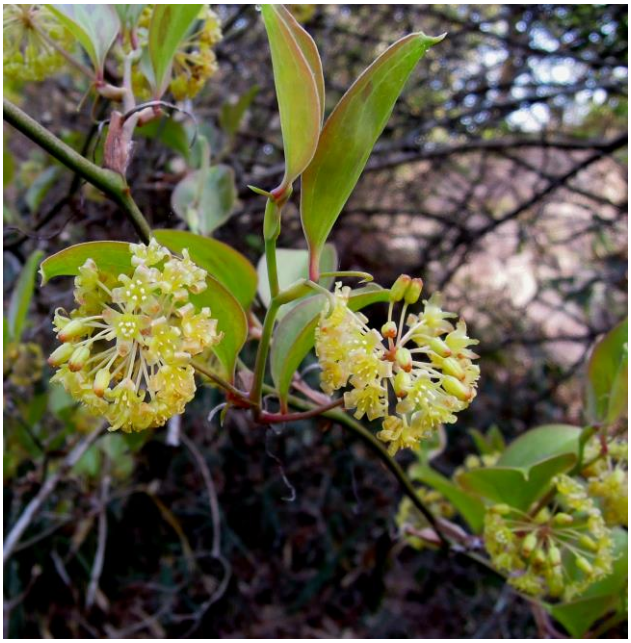
山と花のたより 218号

２０１８年１０月１５日　　松尾　忠
メールアドレス　tadashi6414@smile.ocn.ne.jp
ＨＰ http://yama-to-hana-no-tayori.sakuraweb.com/

続・続　二上山に咲く花々　３

サルトリイバラ（猿捕茨）　サルトリイバラ科（従来ユリ科）シオデ属（サルトリイバラ属説も）



馴染み深い植物です。林縁部などに自生するツル性の落葉小低木。日本全土で見られ、這うように、または他の植物等に絡まって2～3mもの高さになります。節ごとに屈曲する茎とそこに生えている固く鋭いかぎ状のとげ、そして光沢ある大きく丸い淡緑色の葉が特徴。

花は４月ごろ、写真のように球形にも見える花序に多数着けます。雌雄異株。秋、雌株に稔る直径１cm未満の実は赤く熟し、甘みはありますが、それほど美味しくはありません。

端午の節句の餅を包んだ葉

私が育った長崎では、「かから」と呼び、この葉で５月の節句のかしわ餅を包みました。この風習は西日本のかなり広い地域で見られるとの事。

鹿児島では「かからん」と言うそうで、一説では「病にかからん（かからない）」の意で、この植物が薬草だからではないかとされているそうです。「かから」もここからの転訛かもしれませんね。

サンキライの名も

奈良県では「サンキライ」と呼ぶ人が多いですが、これは中国の「ケナシサルトリイバラ」の別称「山帰来」由来のようです。この名にも言い伝えがあり、病気になった人が山でこの植物の根を食べて病が治り帰ってきたというもの。

実際に漢方薬「度茯苓（ドブクリョウ）」として大量に輸入され、解毒剤として使われています。

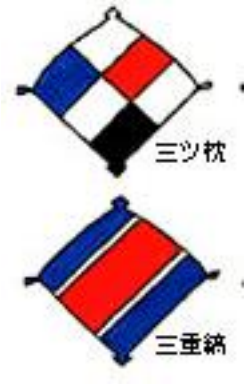
サルトリイバラとケナシサルトリイバラ、近縁種であるこの二つの植物の呼称が混同された感じですが、現在、日本ではサンキライはサルトリイバラの別称として広く使われています。

はた揚げでの痛かった思い出

長崎では菱形の凧を作り、「**はた**」と呼んで、「**はた揚げ**大会」が行なわれます。「おくんち」「精霊（しょうろう）流し」と並ぶ長崎年中行事の一つです。特に長崎市郊外の唐八景（とうはっけい）で行われる「**はた揚げ**」は大勢の長崎っ子が集まり、それはそれは賑やかです。

↓はたの代表的図柄のひとつ・山形

「**はた揚げ**」は、**はた合戦**で、空に舞い上がった**はた**同士で切り合いをするのです。そのために糸（**よま**と言います）にはガラス粉をまぶした部分（**ビードロ**と言う）があり、これで相手の**よま**を切るのです。**よま**を切られた**はた**は空中を漂いますが、切られた瞬間から、その**はた**及び**よま**は所有者無しとみなされ、多くの人たちがそれを奪い合います（**かすります**）。



かするには「**やだもん**」と呼ぶ鈎型の用具を使いますが、子供たちは竹竿にサルトリイバラの茎を巻き付け、鋭いかぎ型のトゲで「**はた**と**よま**」を絡めとるのです。

腕白少年だった私も、この竹竿をかざして、上を見上げながら走っていて、何かにつまづき、勢い余って薮に倒れこんだのですが、そこにサルトリイバラが待ち構えており、あの鋭く固いトゲで左太ももに数条の裂傷を負いました。吹き出す血がズボンを染めますが、衣服に絡まったトゲは容易に離してくれず、サルではなく、人間が絡み捕らえられたのでした。

同行した友人たちが数人がかりで助け出してくれましたが、その時の傷は７０年近く経った今でも、太ももに5～６本の白い筋となって、残っています。

秋田・花の山旅　秋田駒ケ岳

前号、前前号に連載した「秋田・花の山旅」の３日目の山は秋田駒ケ岳でした。

７月２７日、前日の宿泊地・乳頭温泉郷鶴の湯から車で「アルパ駒草」という乗り換え場所に行き、ここからシャトルバスで駒ケ岳８合目に。

８合目からの登山道は山腹にタスキを掛けたように、斜めに上っています。火山特有のむき出しの山肌が時折見られますが、眺望と花を楽しみながらゆったりと登ります。

↑ハクサンシャジン（森吉山で）

眼下に遠く田沢湖が

眼下に見える田沢湖が陽光を受けて光っており、前日、湖畔の公園から見た、驚くほど澄明な湖水と、その水面(みなも)にさざ波を立てながら、素早く泳ぎ回るウグイの群が思い出されます。

↓アカモノ（別名イワハゼ）

やがて盆地状の火口原に至り、木道であみだ池（火口湖）のほとりを辿って避難小屋に到着。

男女岳で３６０度の眺望

池のある火口原を取り囲んで峰々が聳えており、これら諸峰(男岳、女岳、横岳等)の総称が秋田駒ケ岳で、最高峰は男女岳(おめたけ)で標高 1637m。

避難小屋から急登を登って１０時４０分山頂着。四囲の山々を眺めながら、みんな山座同定（さんざどうてい・山の名を確認すること）に忙しい。

天候に恵まれた３日間の山旅でした。